

かぶら

令和7年1月30日

高崎市立かぶら幼稚園

11号

3学期がスタートして早くも1月が終わろうとしています。昨年のは、能登半島での地震、2日は、羽田空港で日本航空旅客機と海上保安庁の飛行機が衝突するという事故があり、波乱の幕開けでした。今年は、天候に合わせたように【日本海側では大雪でした】大事故や大災害もなく穏やかなスタートとなりました。強いてあげると、火事のニュースが多かったような気がします。かぶら幼稚園でも、インフルエンザや感染症の流行もなく、園児が元気よく風上げやはねつき等の冬の遊びを楽しんでいます。

1月が終われば、節分ですね。今回は、節分について調べてみました。

節分とは毎年2月3日ごろ【立春の前日なので、今年は2月2日です】に行われる年中行事。「一年間健康に過ごせるように」という願いを込めて「悪いもの」を追い出す行事とされています。節分の発祥は中国です。平安時代ごろに中国から伝わってきた文化が、日本古来の考え方と合わさって生まれたと考えられています。

もともと節分とは、年に4回訪れる立春・立夏・立秋・立冬の前日を指す言葉。しかしいつしか、一年の始まりであり、大切にされていた「立春」の前日のみを「節分」と呼ぶようになりました。悪いものを追い出し、縁起のよいものを食べて、新しい季節を迎えるための行事です。

節分の定番といえば「豆まき」。昔は、病気や災害など悪いものはすべて「鬼」の仕業だと考えられていたため、鬼を退治する効果があるとされる豆を投げている風習が広まりました。豆まきでは、かけ声のかけ方も地域によって違いがあり、筆者は、父親から【「副はうち」×2 「鬼はそと」×2で、「福はうち」の時に豆を投げてはいけない】と教わりました。父は伊勢崎市出身なので、伊勢崎方式かもしれません。正式な投げ方が決まっているわけではありませんので、その地域ごとの習わしで豆まきをすれば良いのでしょうか。豆は自分の年の数だけ食べることが許されていたり、恵方巻きを食べる風習も一般的です。その年の恵方【今年は西南西】を向いて、しゃべらずに黙々と食べると願いが叶うといわれています。また、地域によっては、いわしを飾ったり、食べたり・けんちん汁を飲んだり・そばを食べたりする所もあるようです。

※インフルエンザが流行しています。手洗い・うがい等の励行をお願いいたします。

1月の園生活



氷



サ



ッ



カ



ー



教室



避難訓練



絵本フェスティバル